



Kabu Berry Lab IRセミナー

2025年5月13日
株式会社セレス（東証プライム市場：3696）





INDEX

1. 会社概要
2. 2025年12月期第1四半期決算
3. 株式会社ゆめみの株式譲渡



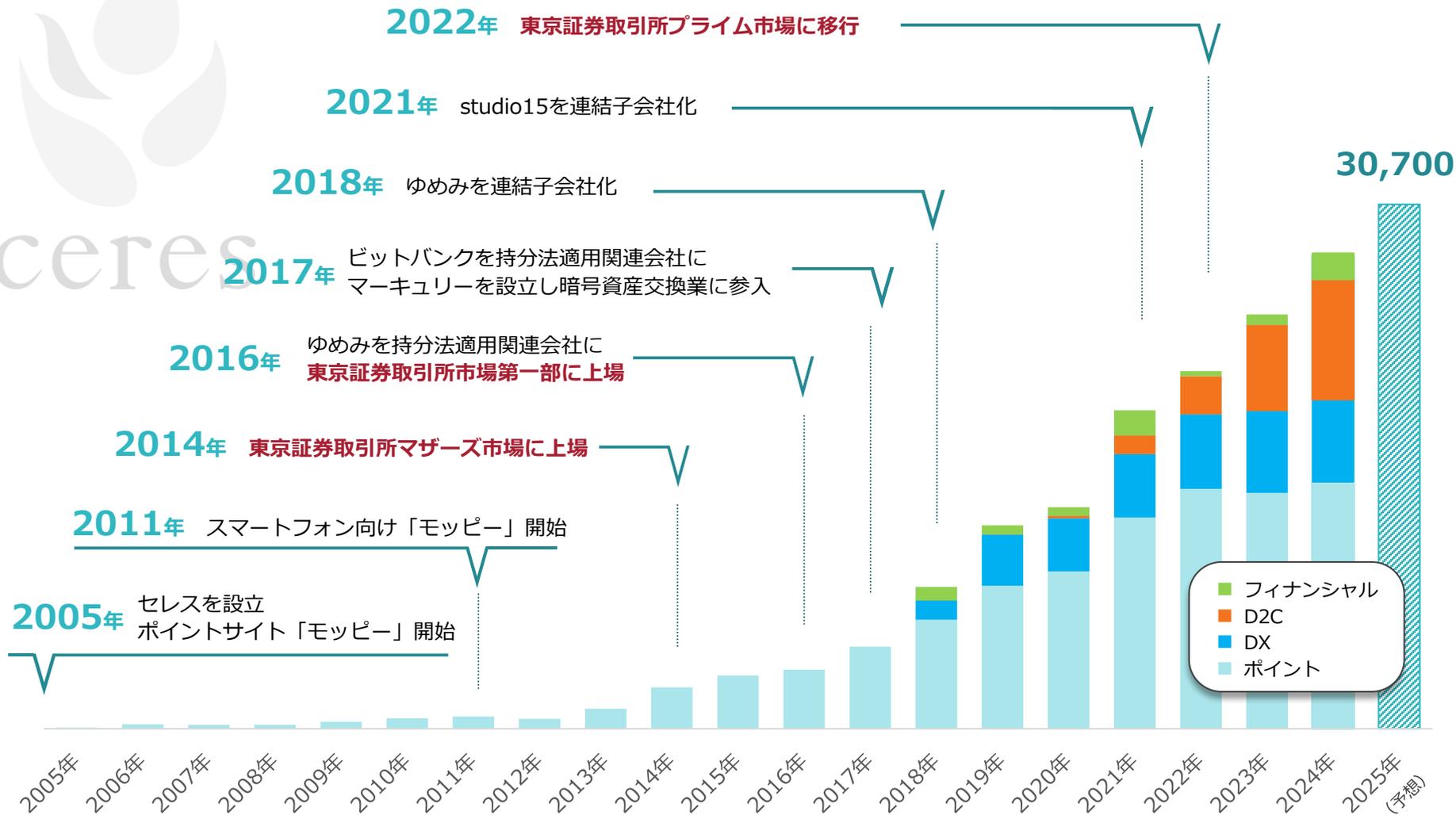
1. 会社概要



会社名	株式会社セレス
設立年月日	2005年1月28日
所在地	東京都渋谷区桜丘町1番1号 渋谷サクラステージ SHIBUYAタワー21F
決算期	12月
資本金	21億2,506万円（2024年12月末現在）
代表者	代表取締役社長 都木 聡
従業員数（連結）	669名（2024年12月末／臨時雇用者除く）
事業内容	モバイルサービス事業 フィナンシャルサービス事業
連結子会社	株式会社マーキュリー、株式会社ディアナ、株式会社バックス、studio15株式会社、株式会社サルス、株式会社アポロ・キャピタル、Apollo Capital 1号投資事業有限責任組合、株式会社ラボル、株式会社ゆめみ
持分法適用関連会社	ビットバンク株式会社

セレスの沿革

売上高（単位：百万円）



※ 売上高は新収益認識基準等を遡及適用したと仮定して記載しております。

主力のモッピーで安定的にキャッシュを創出し成長分野に積極投資 成長モデルの異なる事業を組み合わせ持続可能な事業ポートフォリオを構築

セグメント	サービス	FY2024 売上高	FY2024 営業利益
モバイルサービス	ポイント   	14,405百万円	3,145百万円
	 		
	D2C   		
DX 	4,865百万円	446百万円	
フィンシャルサービス	ブロックチェーン  	1,532百万円	△991百万円
	オンライン ファクタリング  		
	CVC (ベンチャーキャピタル) 		



2. 2025年12月期第1四半期決算



2. 2025年12月期第1四半期決算

連結決算の概要

モバイルサービス事業

フィナンシャルサービス事業

損益計算書の概要

(単位：百万円)	第1四半期 (2025年1-3月)	前年同期 (2024年1-3月)	前年同期比	前四半期 (2024年10-12月)	前四半期比
売上高	7,686 (100.0%)	6,718 (100.0%)	+14.4%	7,488 (100.0%)	+2.6%
売上総利益	3,295 (42.9%)	3,292 (49.0%)	+0.1%	3,609 (48.2%)	-8.7%
販売費及び 一般管理費	2,434 (31.7%)	2,579 (38.4%)	-5.6%	2,811 (37.5%)	-13.4%
営業利益	860 (11.2%)	713 (10.6%)	+20.7%	798 (10.7%)	+7.8%
経常利益	352 (4.6%)	1,140 (17.0%)	-69.1%	1,153 (15.4%)	-69.4%
四半期純利益※1	-57 (-)	832 (12.4%)	-	635 (8.5%)	-
EBITDA※2	482 (6.3%)	1,255 (18.7%)	-61.6%	1,314 (17.6%)	-63.3%

※1 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を示します。

※2 EBITDA = 税金等調整前四半期純利益 + 支払利息 + 減価償却費 + のれん償却費(持分法による投資損益に含まれるのれん償却に相当する額も加算) + 減損損失



ポジティブ

モッピー 過去最高業績

2025年1Q 売上高

4,334百万円

2025年1Q 粗利額

1,156百万円

- 金融案件増加により売上高は過去最高を更新
前年比 + 38.9%
- アクティブ会員数は前年比 + 12.0%
- ARPUは過去最高水準に

ゆめみ 前年比9.2倍増益

2024年1Q 営業利益

31百万円



2025年1Q 営業利益

290百万円

- 営業体制の見直しにより前年比50%の増収に
- 稼働率83.8% (+5.5pt)と大きく改善し大幅増益に寄与

ネガティブ

D2C 前年比減収

2024年1Q 売上高

1,751百万円



2025年1Q 売上高

1,113百万円

- 主力商品ピットソールのSKU拡充遅延で苦戦
- 顧客獲得コストが合わず広告出稿が縮小したため減収減益

マーキュリー

2025年1Q
営業損益

▲311百万円

ビットバンク

2025年1Q
持分法投資損益

▲474百万円

- アルトコイン時価総額
2024年末の約1.5兆ドルから3割超下落し2025年3月末は約1兆ドルに※
- マーキュリーは暗号資産評価損148百万円計上

※ アルトコインとはビットコイン以外のすべての暗号資産（仮想通貨）を指す総称です。 出所：CoinGecko

株式会社ゆめみの全株式を譲渡

譲渡契約締結

譲渡金額※
約**37**億円予定

- 5月8日付でアクセンチュアと譲渡契約を締結
- 2025年2Qの株式譲渡予定
- ゆめみの業績は2025年2Qまで取込みを予定

特別利益計上予定

連結決算
約**23**億円
個別決算
約**32**億円

- 関係会社株式売却益を特別利益に計上予定
- 2025年12月期連結業績予想は、譲渡完了後に譲渡金額が確定次第、速やかに修正予定

DX事業の撤退

事業の選択と
集中を推進

- ポイント経済圏を形成するポイントとD2Cおよびブロックチェーンへ成長投資を集中
- 垂直統合モデルによる利益率向上をベースにロールアップ型M&Aを推進

※譲渡価額は、当社が保有する譲渡対象株式の当初価格として合意した金額であり、最終的な譲渡価額は、本株式譲渡契約に定める価格調整等を経て決定されます。

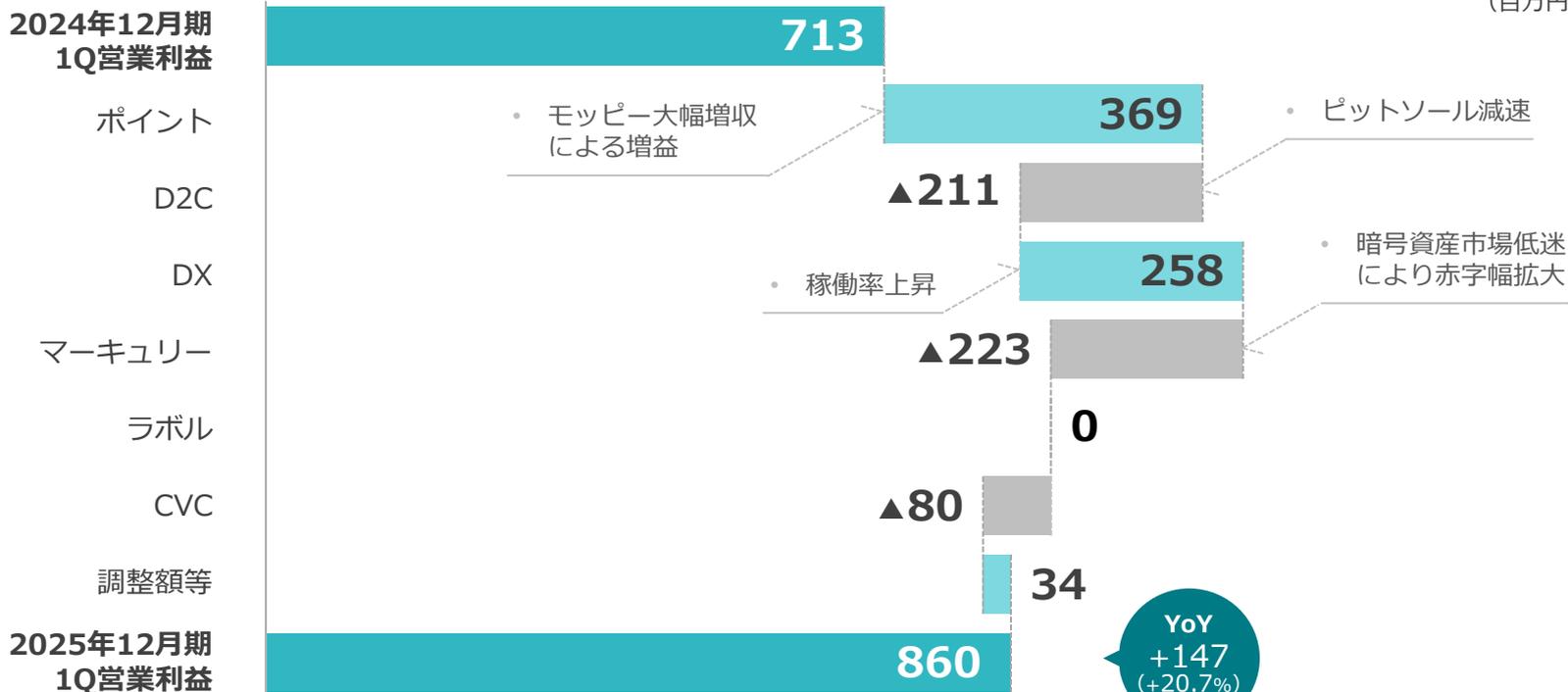
セグメント別業績

(単位：百万円)	売上高		営業利益	
	第1四半期 (2025年1-3月)	前年同期 (2024年1-3月)	第1四半期 (2025年1-3月)	前年同期 (2024年1-3月)
全社	7,686 YOY +14.4%	6,718	860 YOY +20.7%	713
モバイルサービス事業	7,523 YOY +19.9%	6,275	1,539 YOY +37.6%	1,119
ポイント	4,934 YOY +38.9%	3,553	1,152 YOY +47.1%	782
D2C	1,113 YOY -36.4%	1,751	129 YOY -62.0%	341
DX	1,481 YOY +50.6%	983	290 YOY +817.4%	31
セグメント内取引高	-7 YOY -	-13	-32 YOY -	-36
フィナンシャルサービス事業	162 YOY -63.6%	447	-357 YOY -	-54
セグメント間取引高 / 調整額	-0 YOY -	-4	-321 YOY -	-351

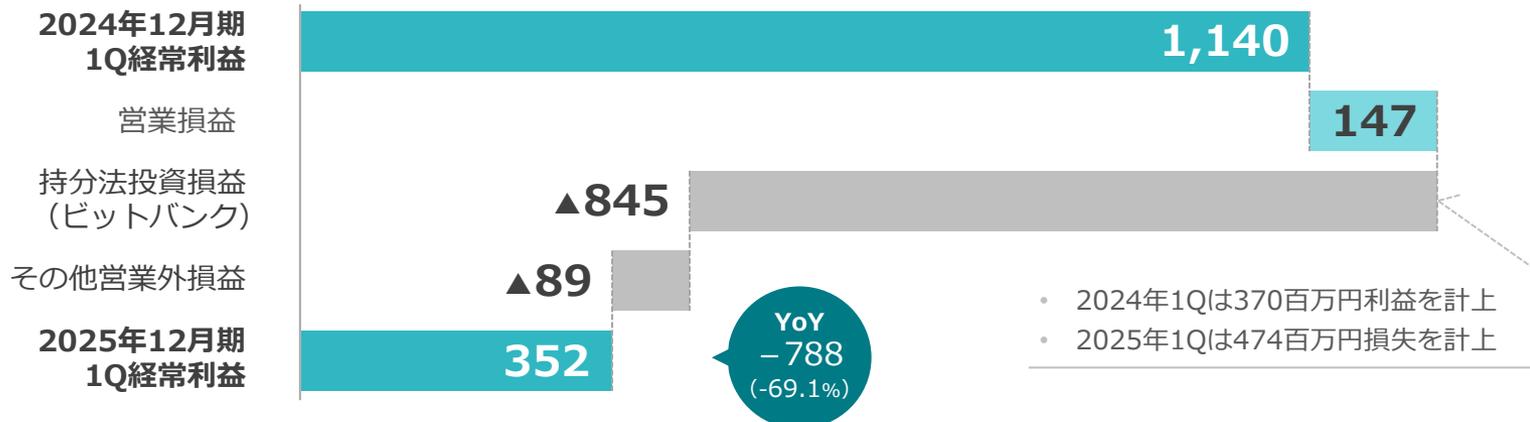
営業利益・経常利益の増減要因

(百万円)

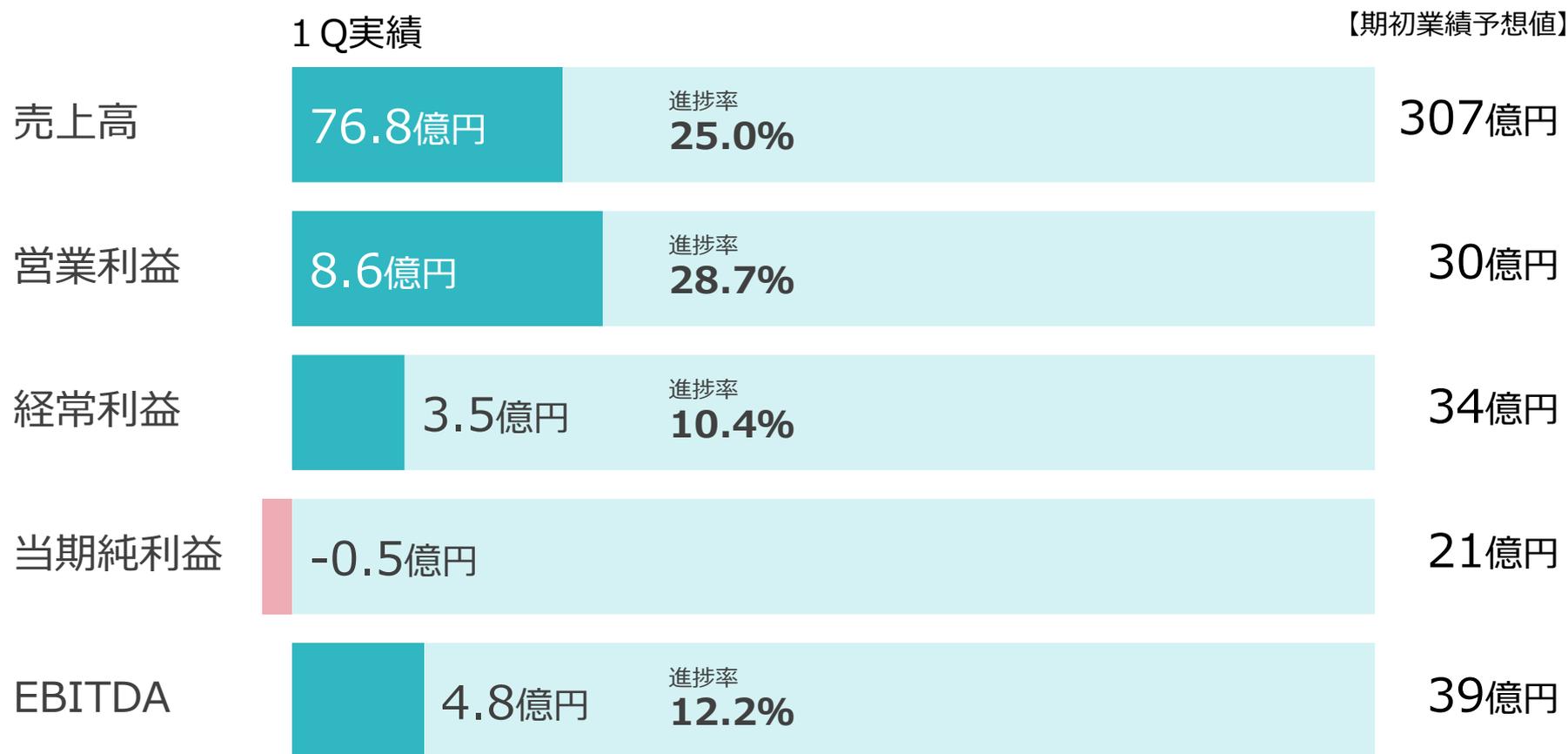
営業利益



経常利益



営業利益はモバイル好調がフィナンシャル赤字拡大をカバーし順調な進捗
経常利益・当期純利益は暗号資産市場低迷でBBの持分法投資損失が進捗に影響



貸借対照表の概要

(単位：百万円)		2025年12月期 第1四半期末	2024年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産	流動資産	23,949 (73.3%)	23,850 (72.3%)	+99	現金及び預金 -416 受取手形、売掛金及び契約資産 +675 商品在庫 +152
	固定資産	8,739 (26.7%)	9,125 (27.7%)	-386	のれん -51 関係会社株式 -478
資産合計		32,689 (100.0%)	32,976 (100.0%)	-286	
流動負債	流動負債	17,610 (53.9%)	16,852 (51.1%)	+758	短期借入金※ +940 ポイント引当金 +494
	固定負債	3,041 (9.3%)	3,402 (10.3%)	-361	長期借入金 -380
負債合計		20,652 (63.2%)	20,254 (61.4%)	+397	
純資産合計		12,036 (36.8%)	12,721 (38.6%)	-684	当期純利益 -57 配当金 -690
負債・純資産合計		32,689 (100.0%)	32,976 (100.0%)	-286	

※短期借入金は1年以内返済予定の長期借入金を含みます。



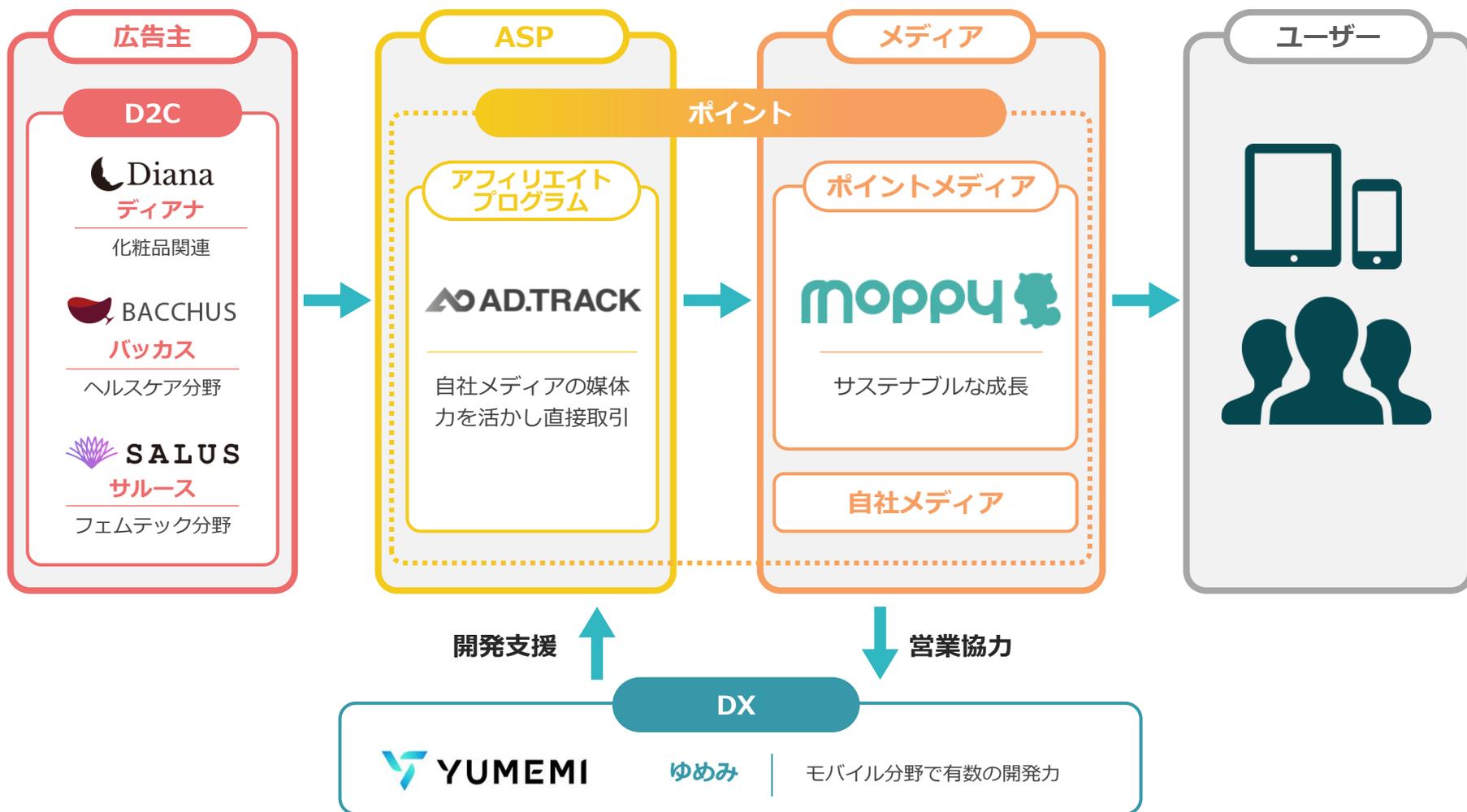
2. 2025年12月期第1四半期決算

連結決算の概要

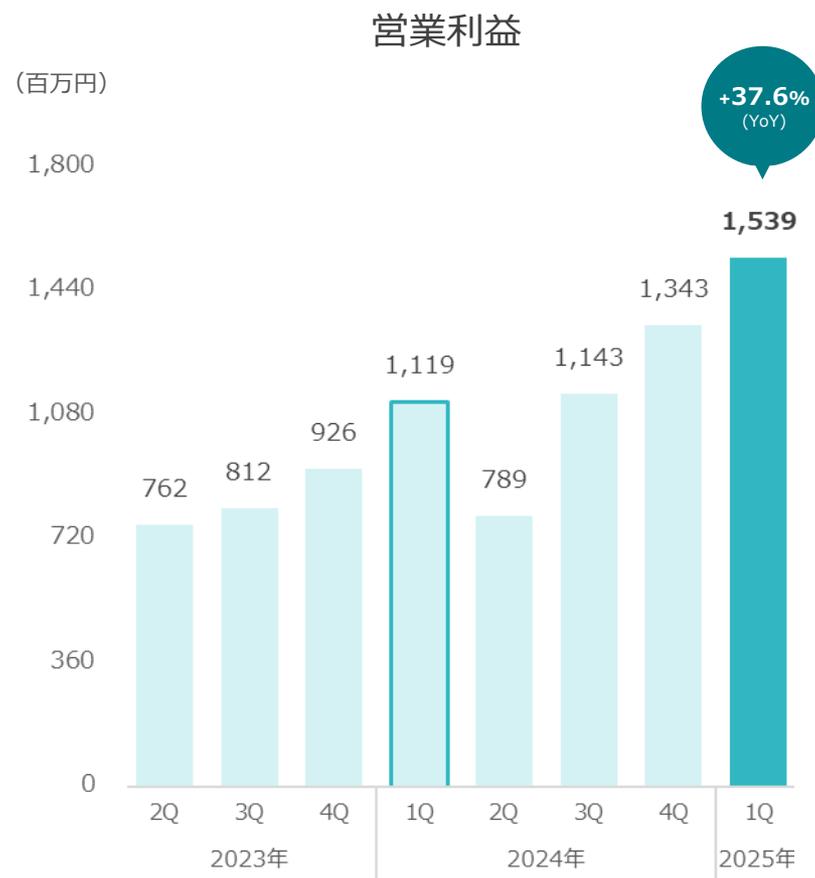
モバイルサービス事業

フィナンシャルサービス事業

モッピー・アドトラック・D2Cの相互連携でシナジーを創出

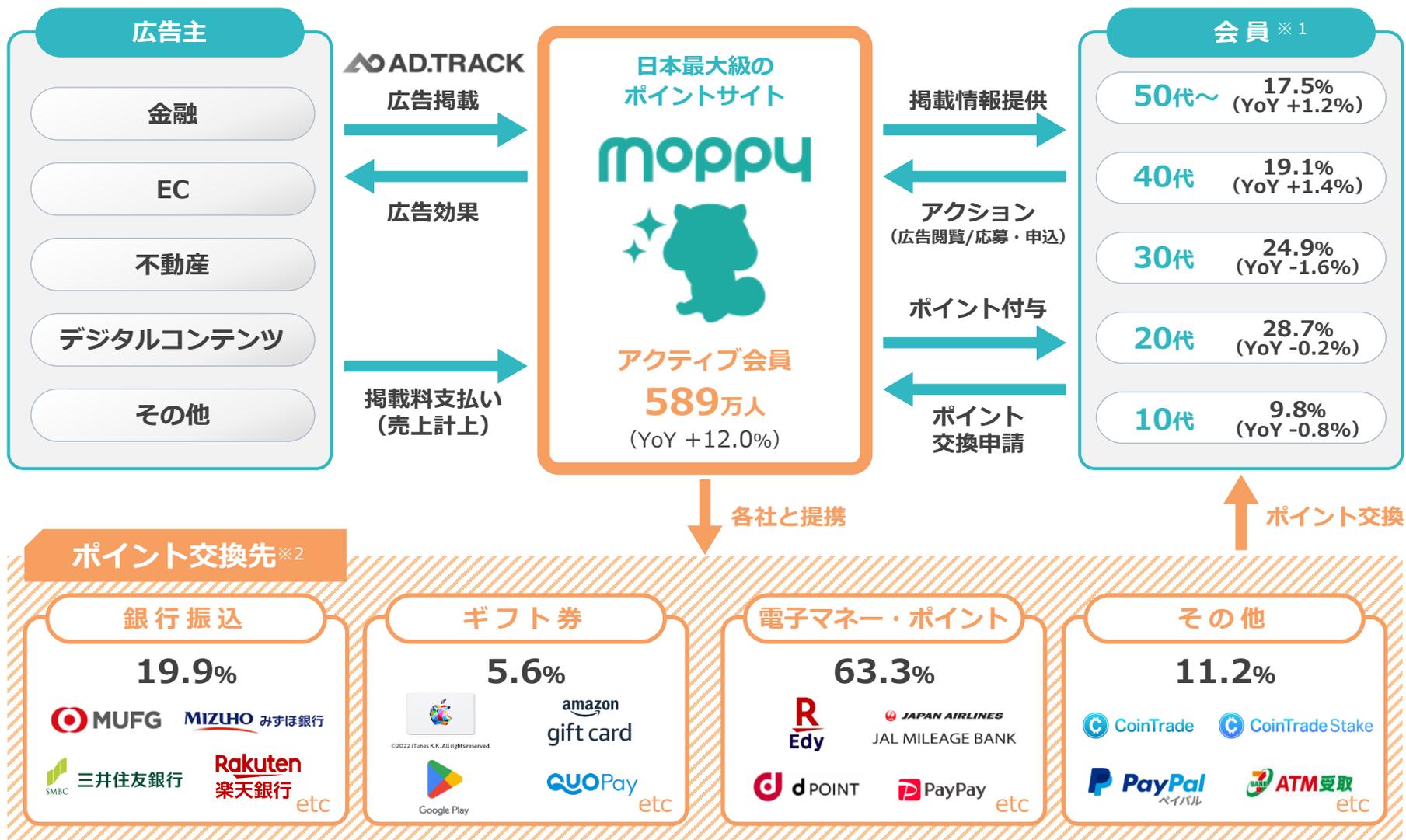


売上高はポイント・DXが好調で前年比増収、D2Cは主力商品の苦戦により減収
 営業利益はモッピーの粗利額が過去最高、DXの稼働率上昇により前年比増益



※ セグメント内の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記しておりません。

モッピーのビジネスモデル

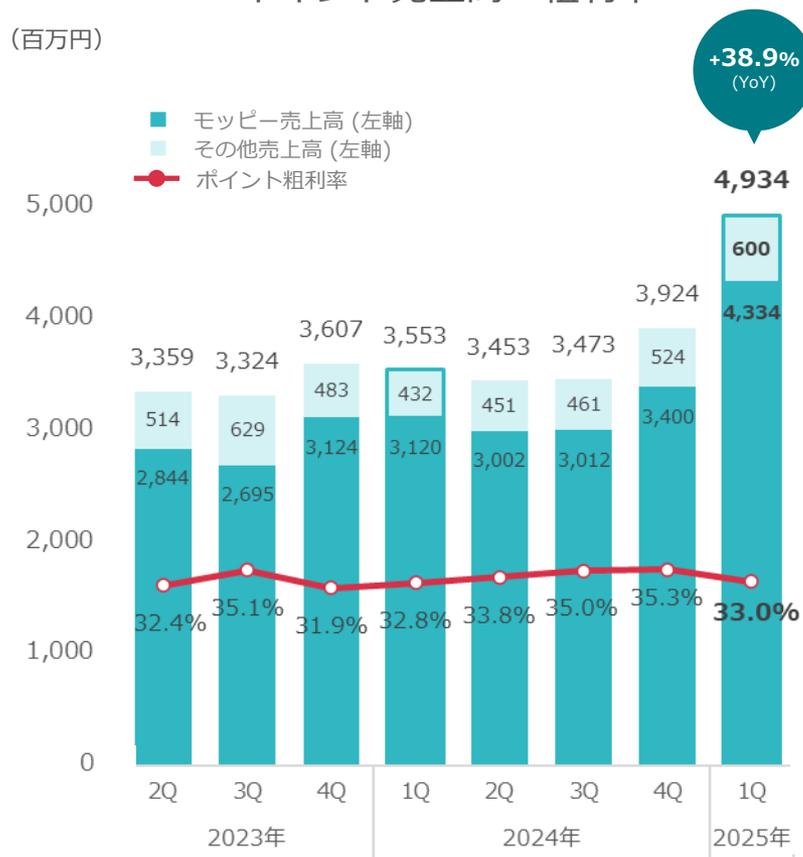


※1 2025年3月末日時点の割合

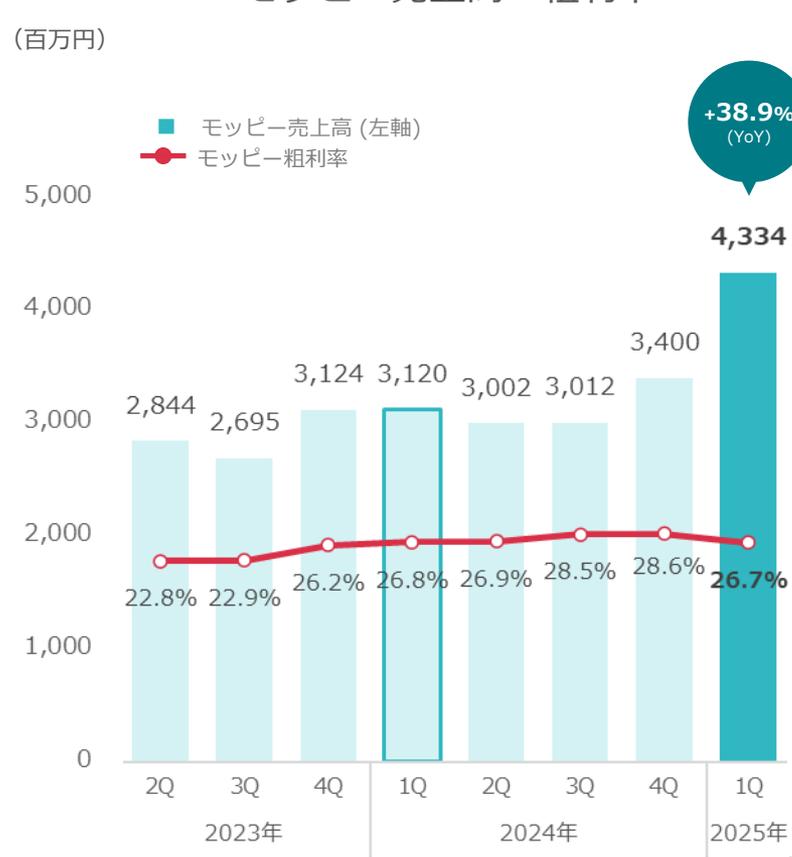
※2 2025年1~3月に発生したポイント交換割合

モッピー・不動産メディア・studio15が四半期として過去最高売上高を更新 モッピーは高単価の金融案件が伸長、そのため高ポイント還元率で粗利率減に

ポイント売上高・粗利率

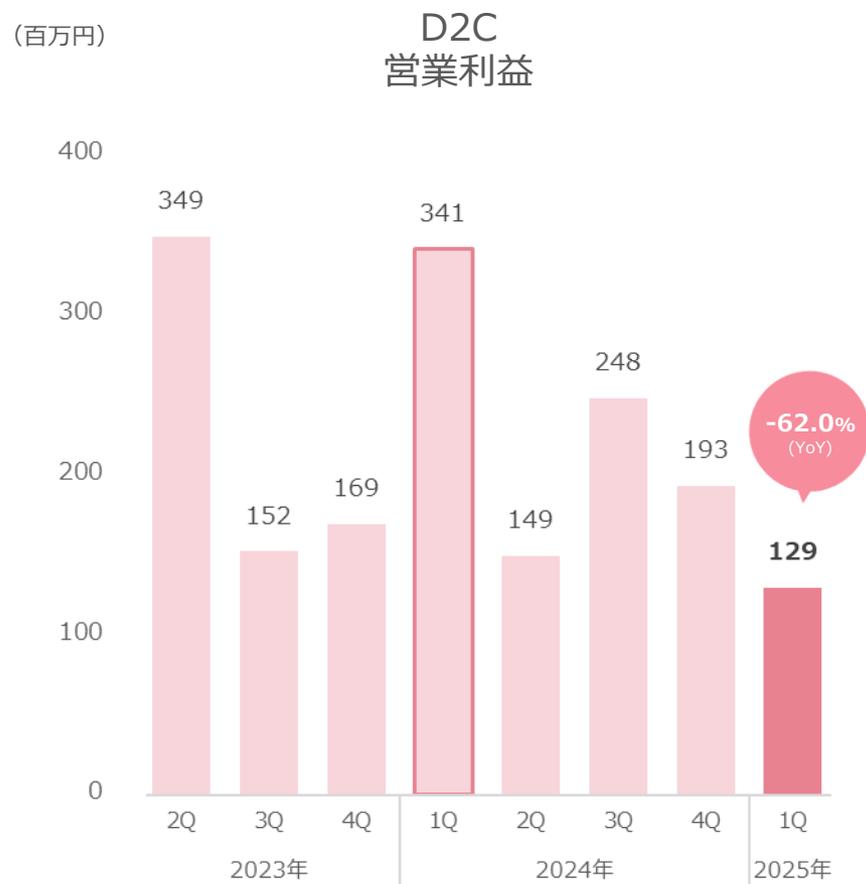
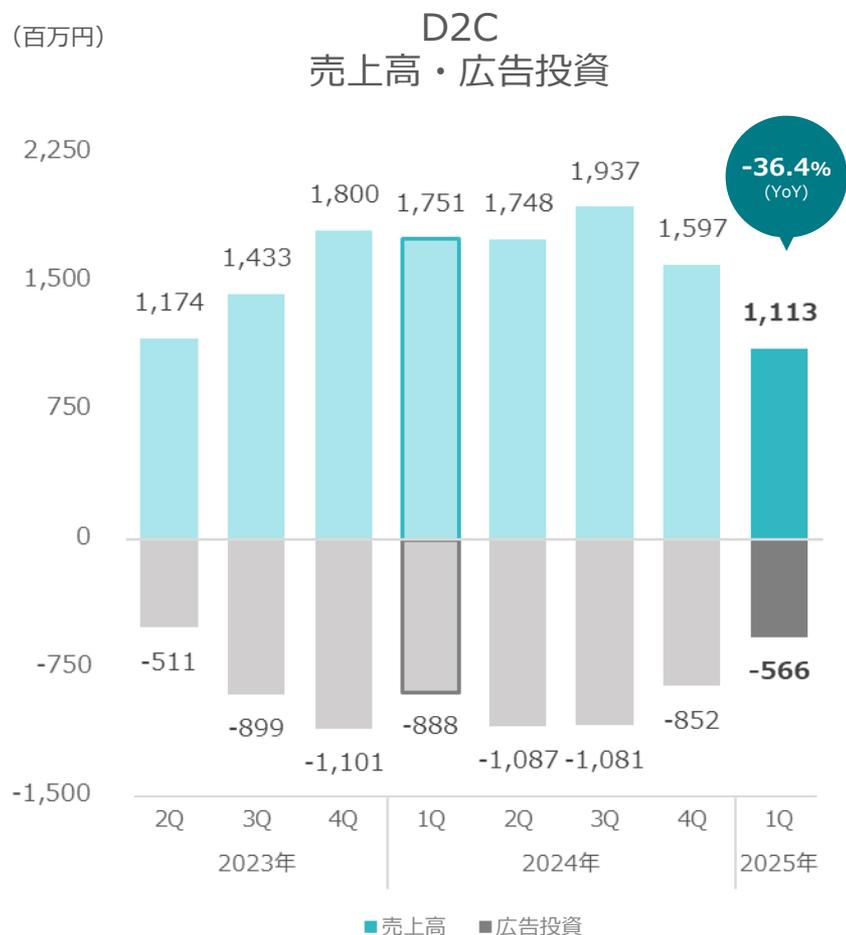


モッピー売上高・粗利率

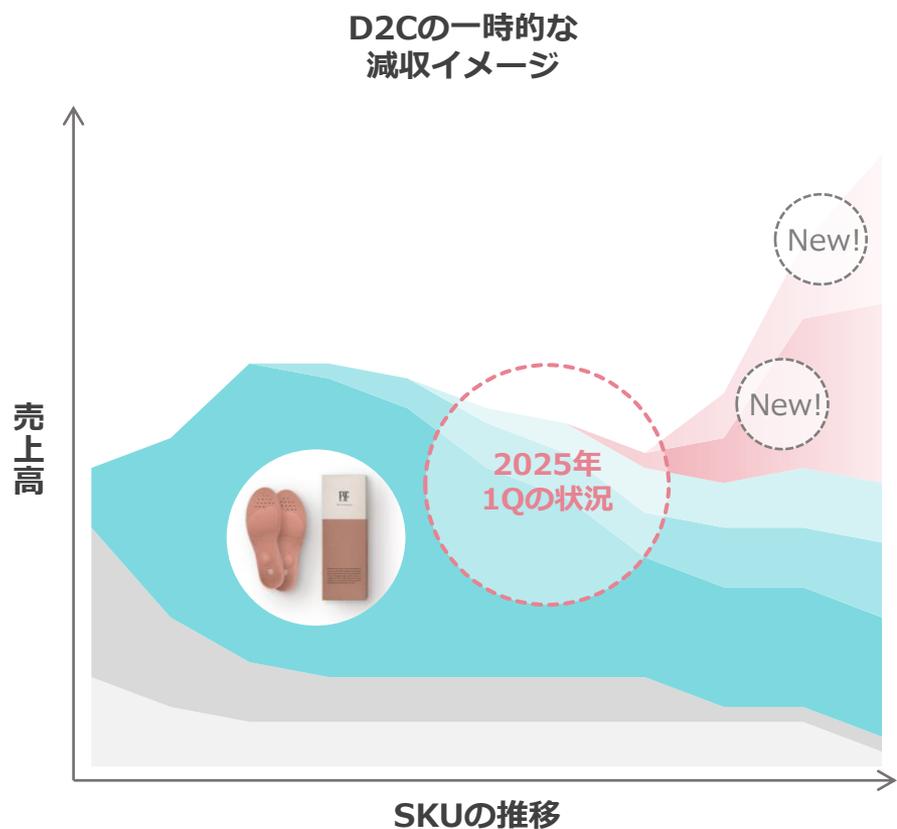


※ セグメント内区分の変更により2021年度以前のモバイルサービス事業の内訳を修正して記載しております。
 ※ セグメント内の内部取引高については、グラフに与える影響が軽微のため表記していません。

主力商品のピットソールのSKU拡充を進めるも売上貢献はこれからの段階 顧客獲得コストの上昇に伴い十分な広告投資を実施できず減収減益



ピットソール販売苦戦と新商品リリースの遅れが重なり一時的に減収 新商品の継続投入およびプロモーションのテコ入れにより売上高回復へ



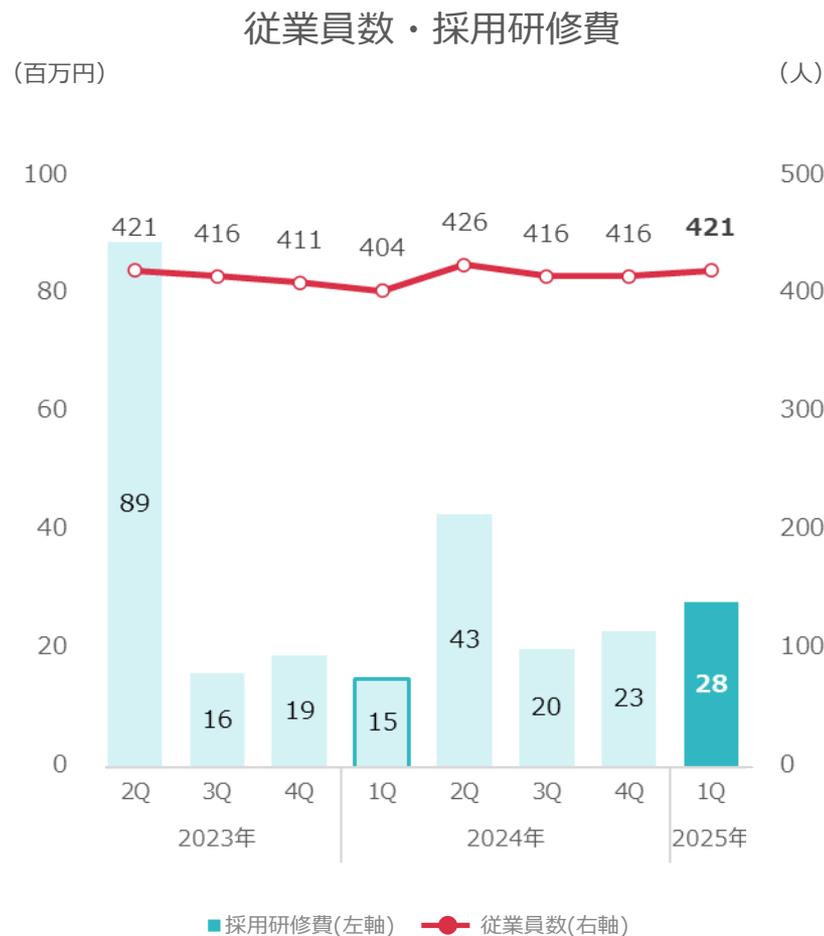
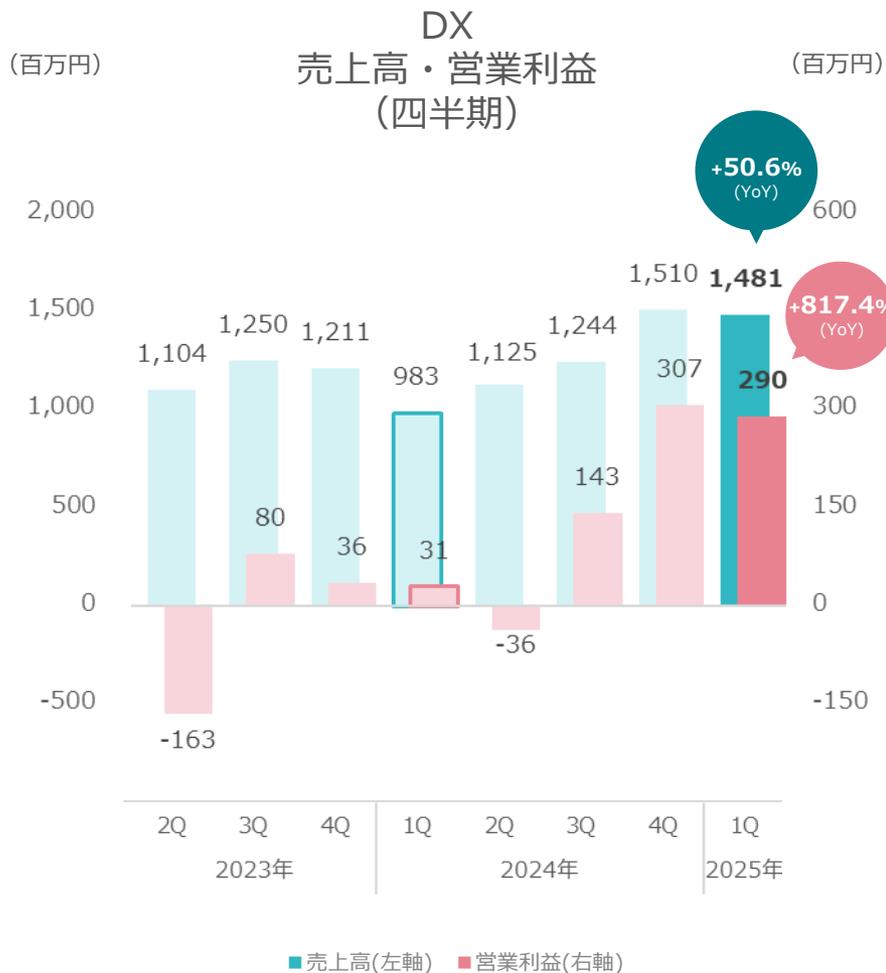
ピットソールのブランド構築・商品展開強化

- **ピットソールの転売・模倣品の対策**
ブランド維持と収益保護
- **ピットソールのブランド化**
ピットソールに使われている特許技術を活かしてSKU拡充を継続
- **プロモーションのテコ入れ**
インフルエンサーマーケティングを強化

今後の商品展開方針

- **美容・雑貨関連の商品投入を強化**
新たなサプリメントの開発は控え、美容・雑貨関連の新商品を投入予定
- **ピルのオンライン診療「エニピル」の強化**
直販に加え、企業の福利厚生としての導入を推進

営業体制の改善を契機に引き続き受注が好調・売上高は前年比1.5倍増 過去に大量採用した新卒エンジニアの戦力化による稼働率上昇で営業利益率改善





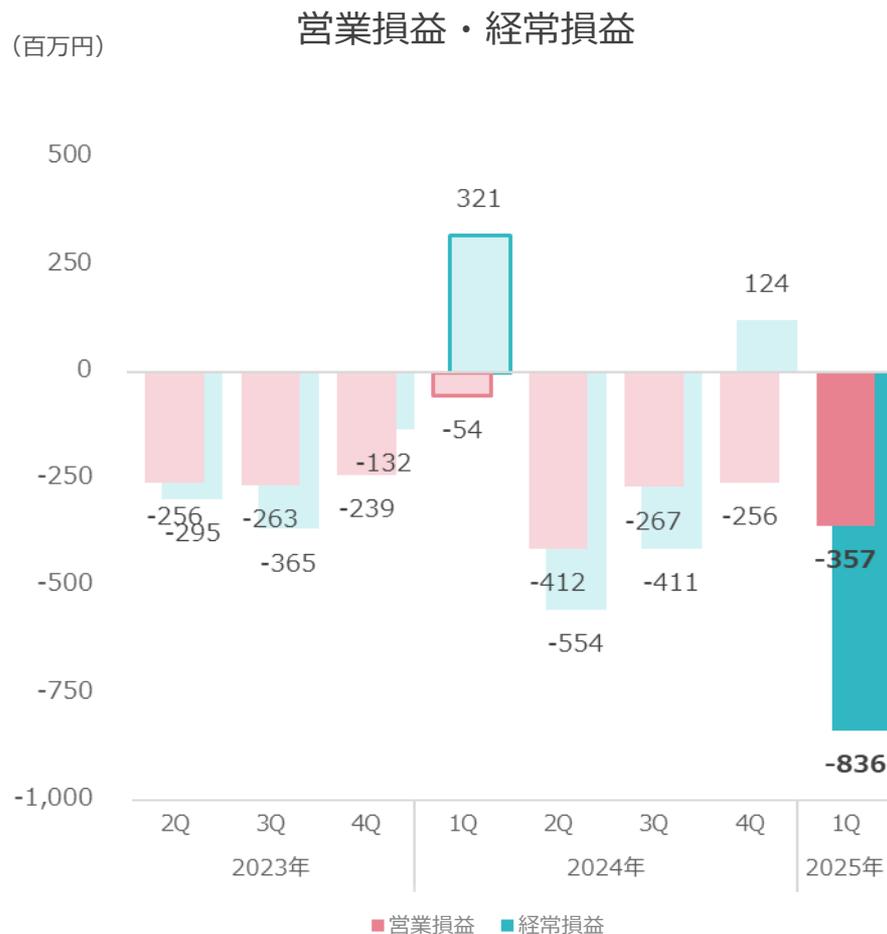
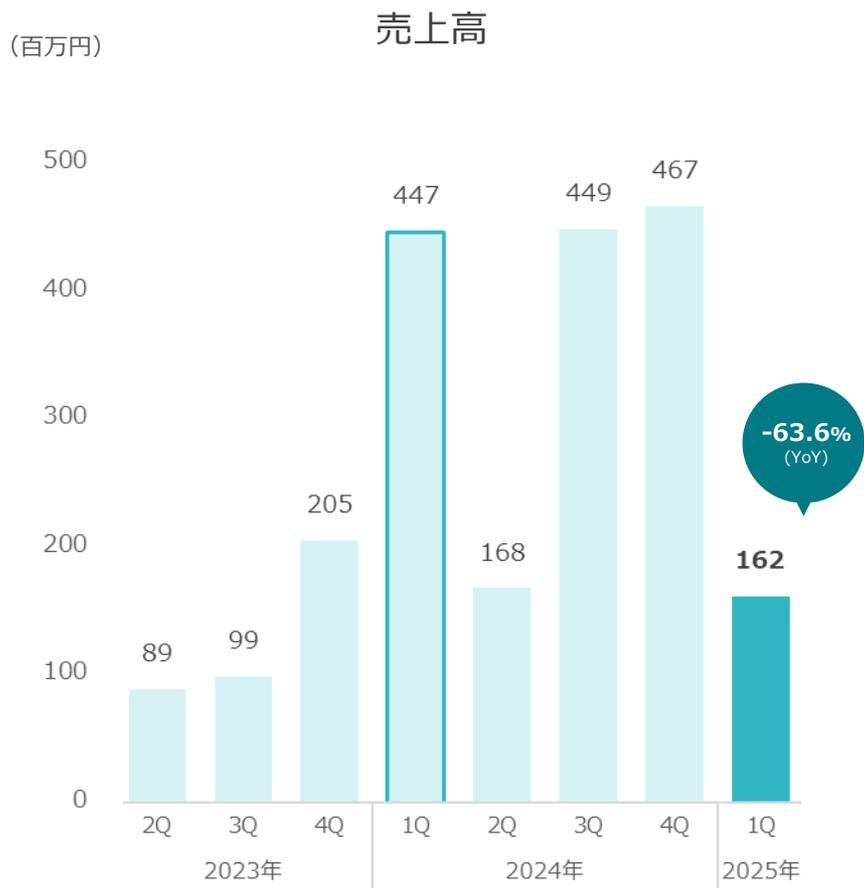
2. 2025年12月期第1四半期決算

連結決算の概要

モバイルサービス事業

フィナンシャルサービス事業

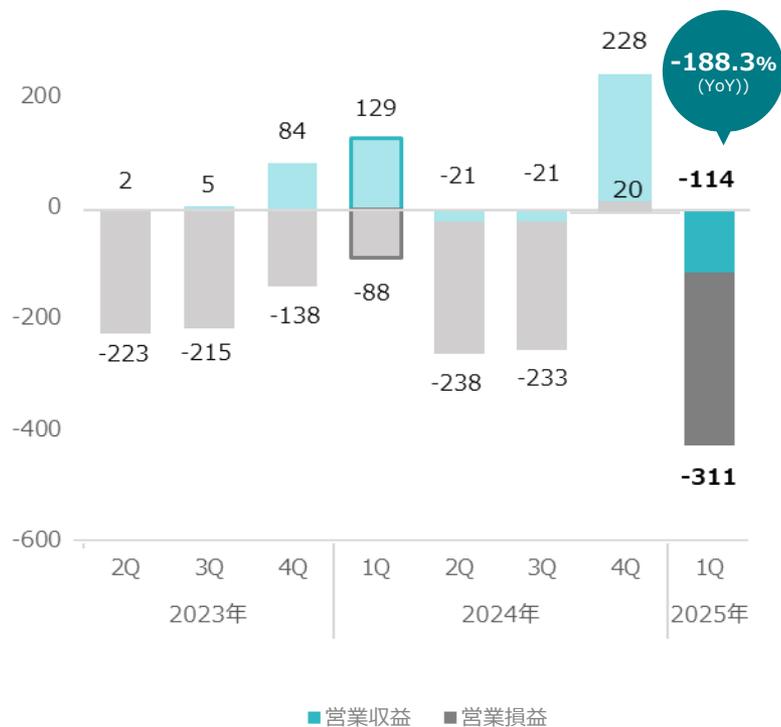
売上高はラボルで前年比76.3%増もMQで▲1.1億円を計上し前年比減収
 経常利益は暗号資産市場低迷によりビットバンクの大幅減益の影響を受ける



マーキュリーは取扱いの主たるアルトコイン価格が大幅下落し減収減益
 ビットバンクはビットコインをはじめとする主要通貨の価格下落により大幅減益

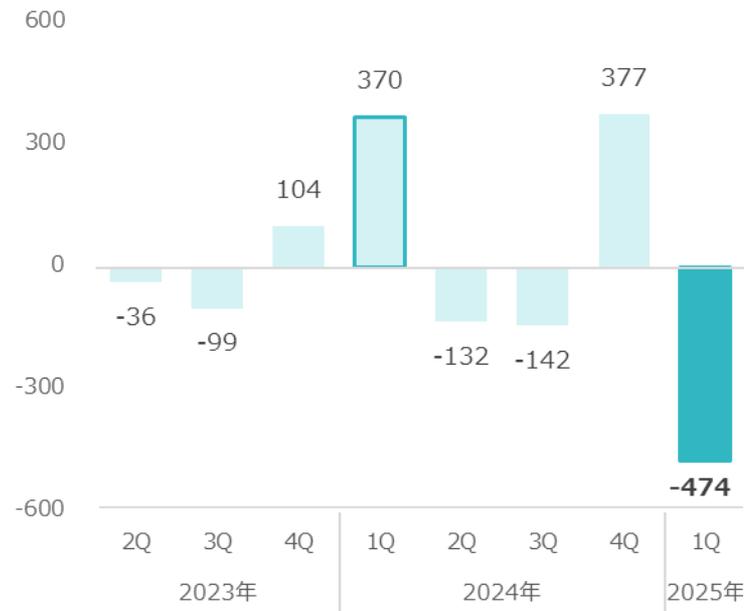
マーキュリー
 営業収益・営業損益

(百万円)

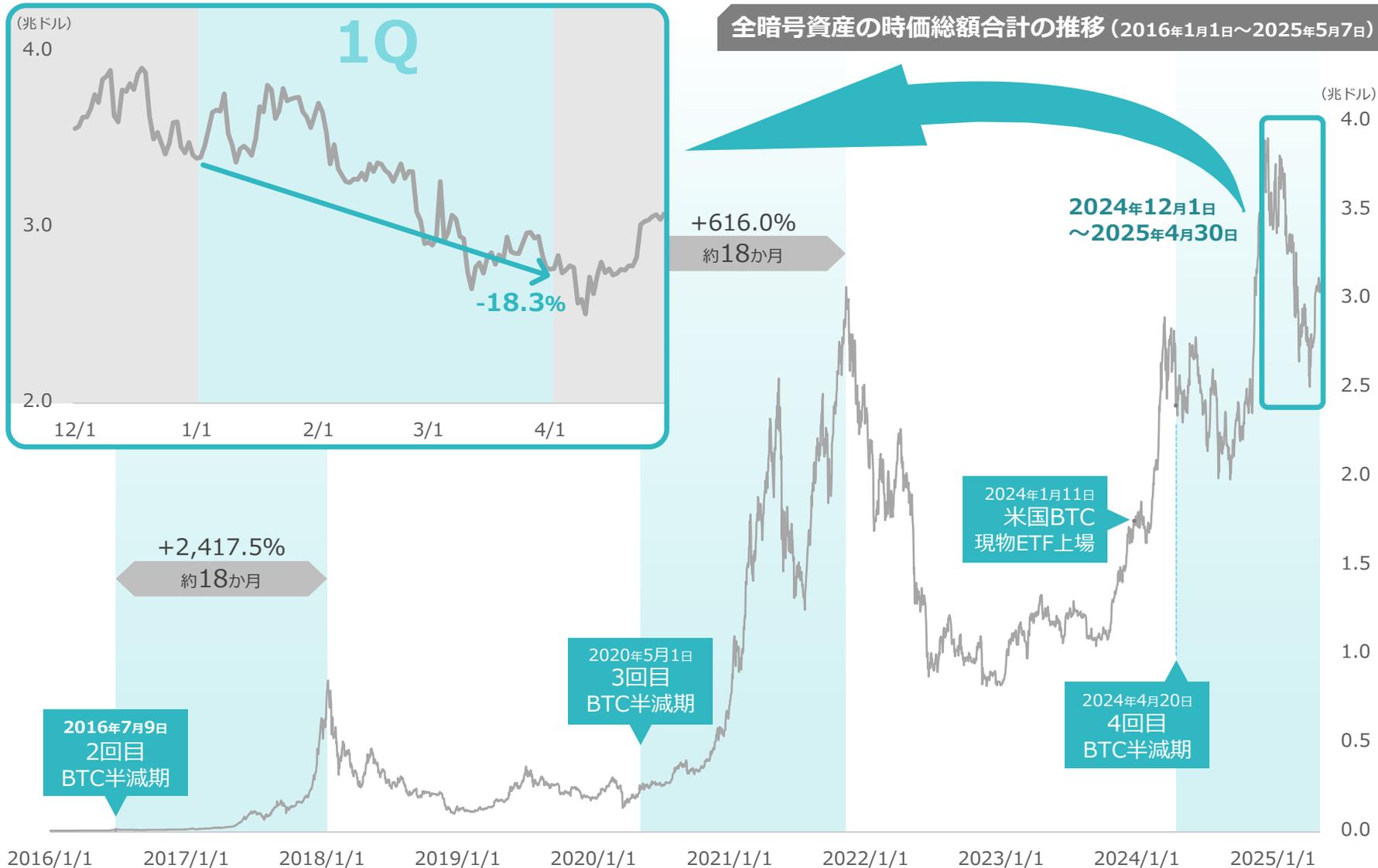


ビットバンク
 持分法投資損益

(百万円)



暗号資産の時価総額推移



※ 出所：CoinGeckoよりセレス作成（2025年5月7日現在）

暗号資産価格の下落により自己保有暗号資産の評価損を営業収益に計上 取引量の減少に伴い手数料・スプレッド収益も減少し、収益悪化がさらに進行

暗号資産における価格変動の影響

取引高増減

- 相場の変動は投資家のセンチメントにも大きな影響を与え、取引高も大きく変動する
- 取引高の変動は取引所の規模に連動する

📍 取引高に影響される**主な収益**

手数料収入

スプレッド収益

ステーキング収益

評価損益

- 暗号資産交換業は投資以外の目的で一定量の暗号資産を自己保有するため、価格変動のリスクにさらされている
- 自己保有の暗号資産については会計ルール上評価・売却損益を**営業収益（売上高）**に計上

📍 取扱い銘柄を**一定量自己保有する目的**

- 取引の流動性を確保するため
- 最低ステーキング額を確保するため
- 収益を暗号資産建てで受け取るため

影響範囲



連結子会社
当社持分**100%**

連結売上高以下



持分法適用関連会社
当社持分**23.1%**

連結経常利益以下

モバイル・ブロックチェーン関連などセレスの事業と親和性のある事業に投資 第1四半期はD2C関連事業を展開する国内企業1社・約100百万円の投資を実行

(2025年3月末)



モバイルサービスと連携

メディア・D2C関連



フィナンシャルサービスと連携

フィンテック・ブロックチェーン関連



valuedesign

jig-jp

adish

Waqoo

Amazia

Link-U

toridori

IPO実績 8社



3. 株式会社ゆめみの株式譲渡

株式会社セレス

連結子会社 49.8%

株式会社ゆめみ

全株式譲渡

契約締結

2025年5月8日

アクセント株式会社

子会社化予定

株式会社ゆめみ

モバイルサービス・DX事業を手掛ける連結子会社ゆめみの全株式を、
2025年5月8日付でアクセントへ**約37億円**※で譲渡する契約を締結

2025年12月期第2四半期中の譲渡実行、**第2四半期までの業績取込みを予定**
第3四半期以降の業績については諸条件が確定次第、**業績予想を修正予定**

本株式譲渡により、2025年12月期連結決算において**約23億円**、
個別決算において**約32億円**の関係会社株式売却益を特別利益に計上予定

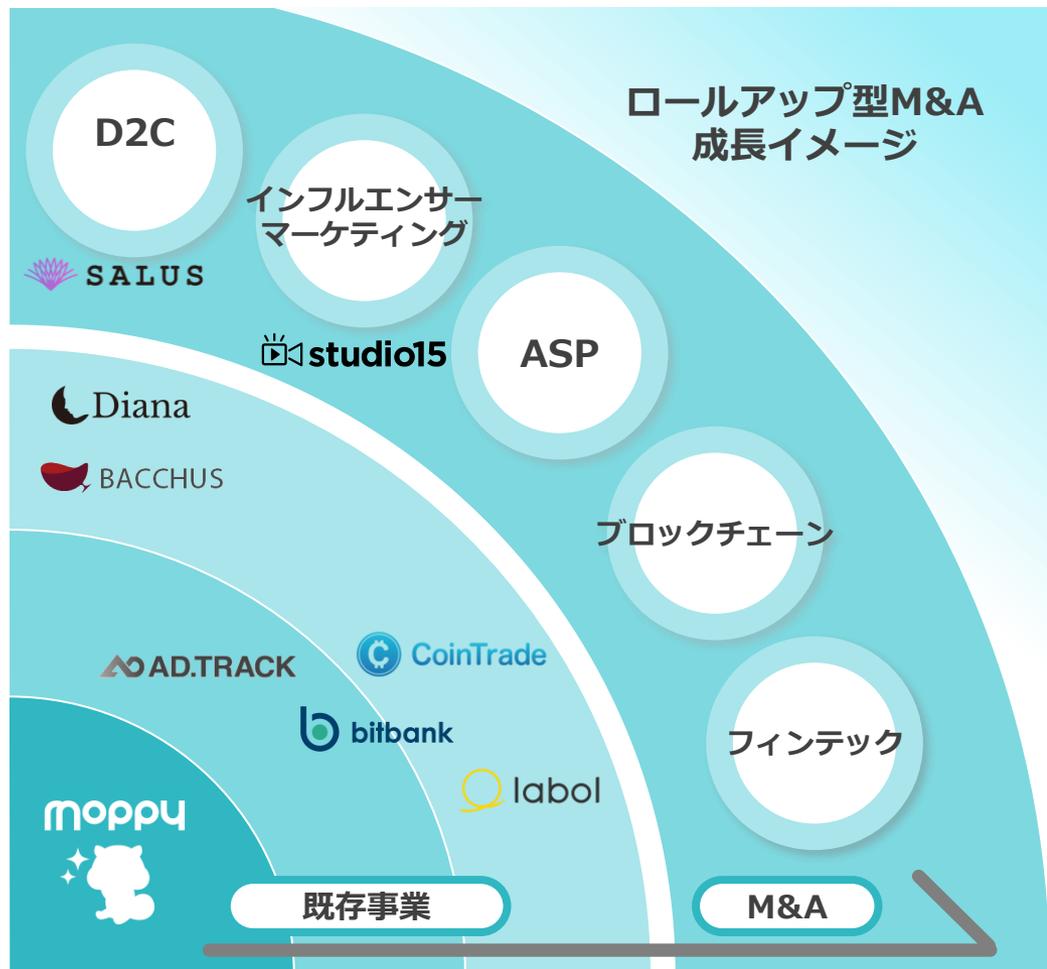
アセットアロケーションの見直しにより、中核事業であるポイント経済圏（ポイント・D2C）
・ブロックチェーン事業への**経営資源の再配分**と**株主還元強化**を進める

※譲渡価額は、当社が保有する譲渡対象株式の当初価格として合意した金額であり、最終的な譲渡価額は、本株式譲渡契約に定める価格調整等を経て決定されます。

トークンエコノミーのポイント経済圏（ポイント・D2C）とブロックチェーンへ投資を集中して高収益&継続成長とイノベーションによる成長の両立を図る



垂直統合型の高収益事業を基盤にロールアップ型M&Aで収益力をさらに強化
中核事業のポイント経済圏・ブロックチェーン事業に経営資源を戦略的に集中



既存事業の成長



ロールアップ型M&A



効率化による
高収益事業の確立



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。